



かけはし

青の3組

~秋のダイナミックワールド号~

「秋のダイナミックワールド」において、青の3組で展開されている遊び、その遊びが始まったきっかけなど、ご紹介させていただきます。各クラスの「かけはし」は、本園Webサイト「園からのお便り」のページにも掲載する予定です。よろしければ、ぜひ、他クラスの遊びの様子もご覧ください。

以前から水性ペンを使い、ペットボトルに色水をつくることを楽しそうにしていた子どもたち。下駄箱の上にとくさん並べられた色水を見ながら、太陽の光が当たりキラキラすることや、反対側にいる友達の姿が同じように映る面白さを発見しました。「色水をたくさんつくって、お城をつくろうよ」という声をきっかけに、色水を使った遊びが広がっていきました。また、一学期に遊んでいた国旗映画館(描いた国旗の裏側から光を当て、紙のスクリーンに映し出す遊び)をよりはっきり映るようにしたいという子どもたちも、引き続き試行錯誤しながら遊んでいました。その後、色水遊びと光の遊びがつながっていきました。

色水迷路の宝探し

色水のペットボトルが偶然迷路のように並べられたことから生まれた遊び。



色水のペットボトルを積み上げお城の壁をつくり出した子どもたち。バランスよく積み上げることに苦戦してしたようでした。



迷路みたい!!

その一方で、並べて遊ぶことを楽しんでた子どもたち。迷路のようにして遊びだしました。



透明なものやキラキラしているものなど、きれいな色水のペットボトルと似ているものを隠して、宝探しへと発展していきました。

影絵映画館

1学期から遊んでいた国旗映画館をよりはっきり映るようにしたいと試行錯誤し発展していった遊び。



映し出しやすい紙として、以前見つけたトレーシングペーパー。協力して貼り合わせ、大きなスクリーンをつくりました。



模様や色も映したいと試行錯誤し、切り抜いた部分は光ることを発見しました。でも、色がつかない...



色水の入ったペットボトルに光を当てると色が映る経験から、透明なものに描くと色がついた絵が映ることに辿り着きました。

青の3組キラキラステージ

色水の入ったペットボトルに懐中電灯の光を当てると、コンサートの照明のスポットライトみたいという声から生まれた遊び。スポットライトやペンライトなど、自分たちで発見したことを取り入れながら、コンサートが盛り上がっています。



コンサートのスポットライトみたい!!



色水の入ったペットボトルに光を当て遊んでいたときに、銀色の箱を見つけ、それに乗せ光を当てると、より輝くことに感動していました。

光を様々な角度から当て、色のついた光が壁に当たるのを見て、コンサートのスポットライトのようだと、ステージをつくり出しました。

壁に直接光を当てるより、銀色の板に反射させるとより輝く経験を思い出し、ステージの後ろを銀色にしました。

色水ライトアップゲーム

色水の入ったペットボトルに底の方から懐中電灯の光を当てると、とてもきれいに光ることを発見し生まれた遊び。



下から当てるとすごいきれ~い



水の泡もきれいに見えるよ!



色水の入ったペットボトルの底から光を当てると明るくきれいに光ることを発見した子どもたち。暗いところで試したいと、何度も試す姿が見られました。

色水の気泡がキラキラ光るのを見て、中に何か入れたらもっときれいになるのではと、透明なプラスチックの板に絵を描き、中に入れることにしました。

きれいに光ることを楽しみながら、たくさんのペットボトルの中から同じ絵が入ったペットボトルを探すゲームへと発展していきました。

